



<現在の新しい取り組みは・・・まずリノベ部会>



まず半年ほど前にはじめての専門部会としてスタートを切ったリノベ部会です。今後、新築住宅の減少が予測される反面、空き家の急増や、耐震リフォームへの対応から社会課題ををビジネス化する意味でスタートしました。5社ほどの会社を中心に動き出しましたが、単なる勉強会でなく、目指すのはビジネス化です。参加各社の熱量も大変高く、現在4ヶ月ほどのワンクールの中で具体的な施工方法や問題点を学んでおります。各社の横の連携もとれており、10月早々には全員で北海道でのリノベ先進地域での現場研修が行われました。

※写真は北海道現場研修のもの



今後第一期生の研修が終われば次の第二期生の募集が始まります。  
これからの新しい需要獲得に向け皆様といち早く活動しビジネスの基盤をつくりたいと思いますので是非ご参加をお願いします。



ESG経営とは（未来を見据えた持続可能な経営戦略）  
（自然、社会、ビジネス、地方創生 との調和）

先般「ぎふSDGs推進パートナー登録証授与式」なるイベントが岐阜県庁にて催され私も出席いたしました。  
中小企業は、中小企業基本法で定義づけられ「資本金3億円以下又は従業員3



00人以下」の企業を指します。サービス業であれば「資本金5,000万円以下、又は従業員1,000人以下の企業が該当します。この春、政府は従業員2,000人以下で中小でない企業を「中堅企業」と位置付けて成長エンジンとして期待しています。また中小企業白書では中小企業は国内に336万社あり企業総数の99.7%を占めております。故に中小企業が、挑戦心を持ち、大企業並みの生産性を持つことが地方の活性化の為に必要となります。



### ( ESG経営 )

ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（統治）の頭文字を取って作られた言葉です。目先の利益や評価だけでなく環境や社会への配慮、健全な管理体制の構築などによって持続可能な発展を目指すことをESG経営と言います。

### 「中小企業の差別化戦略こそが ESG経営」

ESG経営とは、中小企業より大企業がむしろ取り組むべきであると思っておりましたが、今回の活動紹介として2社が紹介されどちらも地元の中小企業でした。



### 一社目は山県市のMバルブ工業

この会社は創業1951年で社員数58名、規模的には典型的な中小企業ですが社長も若く会社の目指すところが明確にされており、組織的にもしっかりした会社である印象を受けました。まず経営方針として「良い社風を創る」・・・人を大切にする経営が中核となっており、ビジョン、ミッショ

ン、バリュー、パーパスが整備されています。

特にパーパス（存在意義）として

「あなたで本当によかった！」と日本で一番喜ばれる数の多い水廻りブランドメーカーになる と日常の考えが素直に表現されていました。

会社の強みとして

- 生産スピードの対応力
- 極小ロット対応力
- 素早く動く顧客対応力

で、付加価値向上や差別化戦略が見てとれます。またCO2の排出量の算定も実際行っており、2030年目標を7年前倒しで達成されています。

社用車のハイブリッド化や太陽光パネルの設置も実施され脱炭素化にも前向き。

さらに、年間休日123日、社員平均年齢35才。

地方にあり人が集まってくる魅力的な会社でした。



## 二社目は岐阜の老舗ゼネコンN建設

次は創業77年で社員数107名の地場ゼネコンさんです。

2020年にSDGs推進チーム発足

21年にSDGs宣言を発表

22年 個人のカイゼン提案にSDGsの評価を紐づけ

女性社員の戦力化に向けたセミナー → 女性活躍企業の認定 等の活動をされていました。

特に印象に残ったのは

今後、新設住宅建設の減少を見越した独自の戦略として

「再成建築」の取り組みです。

一般住宅でも新設住宅の減少が現実化しており先読みできる企業はリフォームやリノベ事業に進出しております。

「再成建築」は特に古くなり耐震基準に疑問が残る、RC造り建築物をチェックし耐震性のみならず省エネ性能も向上させるもので、木造に比べ技術的ハードルも高く、取り組んでいるゼネコンはまだ少数であり、今後古いビルがどんどん増え需要は大きく増加すると考えられます。

今後新社屋をZEB（ネットゼロエネルギービル）として建設される予定との事。

また面白い活動としてプロジェクトチームが10チームほどあり社員はどこかのチームに入らなければならず業務改善計画も定期的に提出され全社員の工夫がシステム化されています。

このプロジェクトチーム方式は弊社も来期から実施すべく課題別に9つのチームが発足しました。同時並行的に活動し、より全社的よりスピード化を狙った仕組みであり、共感をいたしました。

# SDGs



## Sustainable Development Goals

次に博報堂、SDGsプロジェクトから  
 <SDGs、ESG時代の企業経営の実現>

現在	今後
財務（利益）情報の開示	非財務（環境面、社会面）の情報開示が求められる 今後 若い人ほどSDGsに対する認知度が高い

A	↑	環境社会課題解決	は 「価値創出」 の機会
B		”	は コストの対象
C		”	は 企業の問題でない

「創り出したい未来の社会の姿」とその社会における自社の「役割」を宣言すること

創り出したい未来の社会の姿

企業として事業を通じてどのような社会を創り出したいのか？

その社会づくりにおける自社の役割

ブランド独自の強みや資産  
 商品、サービス、  
 ビジネスモデル





## <Big Well Being に向けて>

Well Beingはよく聞く言葉です。健康、幸福、福祉などに直訳されます。簡単に言うと心身だけでなく社会面も含め満たされた状態のことで、1人1人に幸せの実感があります。

今後更に個人だけでなく組織、社会、地球、環境共が良い状況であること、つまり SDGs + Well Being = Big Well Being  
こんな価値観が主流になる可能性も！



## <それでは ぎふの木ネット では>

ぎふの木ネットは、基本的テーマとして「山を守る」「人を守る」「技術を守る」「ITでイノベーション」「地球経済の活性化」こんな考え方の下でスタートしました。

ビジネスだけが成功すればよいという事でなく、そこには「自然」「人」「社会」「ビジネス」「地方創生」との調和をどの様にとって行くかという事であると考えます。

## <今後の予定>

なお11月29日（金）には、ぎふの木ネット（協）の特別フォーラムを予定しております。テーマは「次はエネルギーだ！エコハウスのすすめ」今後「住宅開発部会」「非住宅部会」など、専門部会を増やしてまいります。時代の変化は急速です。

皆様 ぜひ一緒に活動し時代を先回りし大きなウネリをつくりましょう

Back Number



NEWS







正しく表示されない場合は[こちら](#)

このメールは、ぎふの木ネットからのメール配信をご希望された方に送信しております。今後も引き続きメールの受信を希望される方は [こちらをクリック](#) してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから [配信停止手続きが行えます。](#)

本メールは yamagataya\_s\_info@ymg-s.co.jp より tomoya\_yasue@ymg-s.co.jp 宛に送信しております。

みやまち ヤマガタヤ産業内, 羽島郡岐南町, 岐阜県 501-6019, Japan

✓**認証** 購読停止 | [配信停止](#) | [登録情報更新](#)

